



EOS R5 C Firmware update

2023年6月下旬無償ダウンロード開始予定。

発売から1年が経ち、たくさんのお客様にご導入いただいたEOS R5 C。その機能や性能に対し、ご要望も多くいただいて参りました。この度、すべてではありませんが、お客様の声に応える機能向上を盛り込んだファームウェアを公開します。多くのアップデート項目を予定しており、現在鋭意開発中ですが、現時点で決定している内容を以下にご紹介します。

■ Video/Photo切り替え時間短縮

- Video→Photo 約70%短縮
- Photo→Video 約40%短縮



■ AF性能の向上

・追尾枠が可変になります。被写体サイズを把握しコントラストがある部分の測距結果を使うことで合焦確度が高くなります。



・顔を検出していなくても頭部検出が可能になります。最初から後ろ向きの人物やヘルメットやサングラスなど顔検出にくい被写体でも検出・追従できるようになります。



■ 省電力モード追加

デフォルト設定の4K60Pで、撮影可能時間が約30%増加する見込みです。
※4096×2160、59.94P、810Mbps、LP-E6NH、RF50mm F1.2 L USM使用時
ただし、下記の機能が使用できない制限があります。

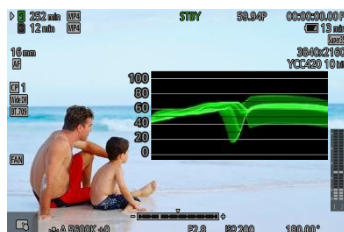
RAW、8K MP4、4K XF-AVC (Intra) のSlow & Fast、LCD/VF輝度、HDRアシスト、外部とのUSB/ネットワーク通信、カメラからアクセサリへの給電

その他、ご要望の多かった機能の改善として、WFM（波形モニター）の表示設定も改善しております。

■ WFM(波形モニター)表示サイズ・透過度設定対応



通常サイズ



2倍拡大



透過度設定

これからもCINEMA EOS SYSTEMはお客様の映像表現の力になれるよう、進化をしております。新しいファームウェアの公開を楽しみにしていただき。情報は随時、キヤノンホームページ、またはCanon Creator Society（Instagram）で発信してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

■ ファームアップ予定項目のまとめ

EOS R5 C新ファーム：2023年6月下旬公開予定

EOS C70、C300 Mark III、C500 Mark II新ファーム：2023年7月下旬公開予定

ファームアップ項目	R5 C	C70	C300 Mark III C500 Mark II	備考
キヤノンレンズへの対応	○	○	○	
8K MP4収録時のマグニファイ(2倍)	○			RAWは8Kでも従来相当(x2,x5,x10)のMag可能
8K RAW収録時、VR 動画収録時の左右切替	○			
Video/Photoモードの切り替え時間短縮	○			
省電力モードの追加	○			
クリアスキャン分解能拡大 (フリッカー対応)	○	○	○	
デジタルテレコン(1.5×/2.0×/2.5×/3.0×)	○			
WFM(波形モニター)表示サイズ・透過度対応	○	○	○	
SDI-Out端子の機能拡充			○	
AF性能の向上	○	○		
Canon 709/CMT 709対応	○	済	済	
Custom PictureのWhite BalanceにG Gain追加	○	済	済	
オーディオメーター 4CH表示	○	済	済	
コントロールリング/ダイヤルで顔選択	○	○		
EOS R5 ファームアップキャッチアップ	○			23年3月FUP分まで。R5 C非対応項目(IBIS等)は対象外